

ひろへ

ひろ、君と出会ったのはゆいとらんを友人にお披露目した帰り道に寄り道した熱帯倶楽部でした。お店のお姉さんがお勧めの子がいるということで君に合わせてくれたのですが、生後4ヶ月にしてはハッキリ言って病気でガリガリとしか思えない状態で、お姉さんにそのことを聞くとバックヤードでずっと暮らしていて、ご飯もあまり食べてくれないとのことと栄養食を与えているとのことでした。

君を抱っこしているといにこのままにしていくとお迎えしてもらえずにお店のバックヤードで一生を終えてしまいそうな気がしていてもたってもいられない気持ちになってしまっていたときに君は私の腕を噛んだね。それで、おとうちゃんは君のご飯のことを解決すれば元気に暮らせるかもしれないと思ったので、一緒にいたゆいとらんにも相談して君をお迎えすることにしました。

予防接種が明日だということで、予防接種が終わって落ち着いてからお迎えすることになって、お店に予防接種のことを任せました。

君と出会って3日後に熱帯倶楽部から君をお迎えしました。予防接種をした野村獣医では健康状態は問題ないけど耳ダニがいるとのことでした。

自宅に戻って、うちのご飯をあげるとおいしそうにバクバク食べてくれたのでおとうちゃんはとてうれしかった。お店でご飯を食べてないというのがうそだと思われるくらいの食いつぶりでした。その後、1.8kgまで太っちゃって困ってしまいましたけど……。

君が元気に暮らせるようにと、お父ちゃんが最も尊敬しているジャズピアニストの国府弘子先生にお願いして「ひろ」という名前を頂きました。シナモンズの名前は著名人の名前に由来することが多いけど、ご本人から正式に名前を頂いたのはひろだけです。

2日後に主治医に君を診てもらったところ、「肝炎でとても酷い状態、こんな状態で予防接種するなんて考えられない」と言われて、なんか騙されたみたいでショックでしたが、最初から大きな病気をしていることは覚悟できていたので、主治医と一緒に君の肝炎を治療することにしました。このことがきっかけでおとうちゃんはフェレットの病気やご飯、ケアのことなど、フェレットについて一生懸命勉強するようになりました。ホームページの掲示板やメールでよく病気やお世話の相談をされたことがあったけど、わからないことは主治医に質問したりしてなんとかアドバイスしました。それで救われた子がたくさんいたので、これはひろのおかげだとおとうちゃんは思っています。みんなを助けてくれて本当にありがとう。

去年の秋あたりからインスリンノーマの治療を始めましたが、みゅう、ゆい、クーたんと続けて副腎腫瘍の治療を行わなければならなかったのと、おとうちゃんの仕事の関係もあって君の治療を十分にしていられない状態になってしまいました。でも、君はおもったよりは元気だったのでホルモン剤の調整をしなくても大丈夫だったので、おとうちゃんは安心していました。病気で毛が抜けやすくなっていたのだと思いますが、君の毛玉のケアが十分でなかったようで、毛玉の除去のために胃切開をしなければならないことになってしまって本当にごめんなさい。だから、手術のときは主治医に出来るだけのことをしてくださいとお願いしてインスリンノーマの腫瘍も5つほど除去していただきました。

術後の経過は良好で退院してから2週間ほど暴れまくっていたのに、急にご飯を食べなくなって強制給餌をしなければいけない状態になってしまいました。おとうちゃんは君に与える流動食を一生懸命研究したんだよ。おとうちゃんは君はインスリンノーマのせいで吐きまくっていたと思っていたけど、本当は心臓が悪かったのですね。もう少し早く動物病院に連れていけば、もっと早く心臓病の治療を開始して元気に5歳の誕生日を迎えられたことでしょう。気づいてあげられずに本当にごめんなさい。

ひろくん、4年7ヶ月、一緒に暮らしてくれて本当にありがとう。これからは、クーたん、ゆう、おと、たけと一緒にシナモンズ+ヴァンが元気で暮らせるように見守ってください。

2007年5月27日 シナモンズのおとうちゃんより